

令和4年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	岐阜大学	主な交流先	インド
事 業 名	グローバル JDP プラットフォーム形成による北東インド・東海圏における実践力のある高度人材育成		
海 外 の 相 手 校	インド工科大学グワハティ校		

〔評価コメント〕

本事業計画は、インド工科大学グワハティ校と協働して大学院3専攻において実施してきたJDプログラムを基盤として、オンライン教材のモジュール化、両地におけるインターンシップ、学部学生を対象とする短期交流事業等を組み合わせることにより、学部生から博士課程までの幅広い学生を対象とする質の保証を伴った国際教育プログラムを構築しようとするものであり、発展的かつ意欲的な計画として高く評価できる。とくに貴学及び提携校の双方にとって協働のニーズのある分野を重点化することによってJDプログラムの円滑な実施を実現してきた堅実な国際化へのアプローチや、地域に立脚した産学官連携の試み等は、大学の国際化の一つのモデルとなり得るものであり、今後の発展に大きな期待が持てる。またオンライン教材のモジュール化は、体系的なカリキュラムに基づくオンライン教育の可能性を広げるとともに、学部生や他大学の学生にも国際的教育の機会を提供するものであり、その成果が期待される。

しかしながら本事業計画は、連携校がすでに交流実績のある一校に限られている等、事業規模及びその拡大方策が限定的であり懸念される。実施にあたっては、オンライン教材のJV-Campus等への提供にとどまらず、実施諸段階において可能な限り国内外の他大学学生に参加の機会を提供するとともに、様々な機会を通じて本事業計画の成果を積極的に公開し、他大学、とりわけ地方の中核大学の国際化をけん引する役割を果たすことが望まれる。

最後に、今回選定された貴学においては、将来の我が国と相手国との関係を見据え、質保証を伴う国際教育連携の先導的モデルに中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。また、本事業は、補助期間終了後は自立的に事業を継続することが前提とされていることから、継続的かつ発展的に質保証を伴った事業を展開されたい。